

## 令和元年度 第1学年 後期授業アンケート結果 分析表

国語総合 (現代文)	前期に引き続き、多くの生徒が熱心に取り組んでいる。筆者の主張等を正しく理解するためにはどのような読み方をすればよいか、また、自分の文章には何がたりないか。活動を通して繰り返し問いかけ、さらに深い思考や表現ができるように指導していきたい。
国語総合 (古典)	前期に引き続き多くの生徒が予習に励んでいるが、復習などの取り組みの差が授業の理解度の差に表れはじめている。文法事項など覚えなければいけないことは定着を細かく確認していきたい。訳に終始せず、普遍的なテーマについて深く考える授業を目指したい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習を取り入れることで、学習に対する意欲が高まっている。学習した内容を実生活とリンクさせた形で制度や用語を理解できるような授業展開が引き続き必要である。
数学 I	多くの生徒が予習・授業・復習に熱心に取り組んでいる。授業進度も概ね適切である。理解度に不安を抱える生徒には、予習・復習の徹底を継続して指導したい。予習を前提とした授業をしながら、基礎から応用へ丁寧な指導を心掛けたい。また、グループ学習も取り入れたい。
数学 A	多くの生徒が予習・授業・復習に熱心に取り組んでいる。単位数は少ないが、授業進度も概ね適切であると考えられる。基礎に不安を抱える生徒には、予習復習の指導を継続する。予習を前提とした授業の中で基礎から応用へ丁寧な指導をしたい。グループ学習も取り入れたい。
物理基礎	前期と比較して分かりやすいという生徒も分かりにくいという生徒も増加しており、2極化している。直感的な理解を優先して、筋道を立てた考察をしない生徒も多いが、グループ学習で関心や意欲が高まったという生徒が多いので、今後もグループ学習も取り入れ、「考える」授業を展開していきたい。
生物基礎	多くの生徒が、授業を集中して取り組み理解を進めていると回答している。グループ活動の効果は高いことが分かるので、ペアやグループでの活動や実験を実施していくなど、より授業を工夫していきたい。
保健体育	12月より選択制授業を導入し、グループ学習等の場面を設定している。それにより、班員との協力の中で主体的な学びにつながっている。技能・体力の向上を含めた基礎基本の習得、同時にルールの学習をしながら、2年生からのより主体的な学びへとつなげていきたい。
音楽 I	多くの生徒が集中して取り組んでいる。後期は、いろいろな新しい楽器や日本の音楽等にふれたり、グループによる活動を増やしたりすることで、前期よりも音楽への興味・関心が高くなった生徒の割合が増えた。これからも、授業内容や活動方法を工夫して、さらに生徒の関心を高めていきたい。
美術 I	前期と比較するとほぼ同じ結果である。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。特に授業の難易度・授業の進度・先生の説明はポイントが的確でわかりやすいですかについて、生徒はちょうどよい(大体わかりやすい)と回答している。今後も適切なアドバイスや指導で授業を展開していきたい。
書道 I	前期同様、多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は、グループ学習も取り入れ、より多くの生徒に興味関心が高められるよう工夫していきたい。
コミュニケーション英語 I	前期同様、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも前期から適切であると捉えている割合も高い。ペア・グループ活動への意欲も高まっており、授業を肯定的に捉えて積極的に取り組んでいることが見て取れる。予習・復習の徹底は継続的に促していきたい。
英語表現 I	前期同様、多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が更に増えている。授業に満足していると回答している生徒の割合も高い。コミュニケーション英語 I と同様、ペア活動への意欲が高まっており、効果的な活動を更に検討していきたい。予習・復習の徹底を促し、自学の時間を十分確保できるように促したい。
家庭基礎	前期と同様に多くの生徒が授業に集中して真摯に取り組んでいる様子が伺える。今後はまとめとして、グループ学習の時間を増やし、様々な課題への問題解決に向けて、的確な判断力が育成できるような授業を展開をしていきたい。
社会と情報	前期と同様に多くの生徒は集中して授業に取り組んでいる。さらに高いレベルでの学びや資格取得、各種大会で活躍する生徒も増えている。生徒達が興味関心を持ち、学んだことから様々なことに挑戦していけるような授業を心掛けていきたい。

## 令和元年度 第2学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文B	前期に比べ難易度が高くなっているが、多くの生徒が主体的に取り組んでいる。今後も、様々な領域の文章に触れながら、深い思考につながるような授業を目指したい。
古典B	前期に比べジャンルも広がり難易度も高くなっているが、多くの生徒が主体的に取り組んでいる。今後も、作品の背景等を大切にして作品を味わいながら、古典世界を楽しめるような授業を目指したい。
世界史A	現代史を中心に学習を進めており、日々の国際ニュースなどにも充分対応できるよう、教材の精選を進めた結果、前期同様、生徒からは高い評価を受けた。今後は、グループ学習を積極的に取り入れることで、多くの生徒の興味関心を引き出すことにつなげていきたい。
世界史B	前期に引き続き、多くの生徒が意欲的に取り組んでおり、興味関心も高まったようで、授業内容・進度・難易度等についても概ね良好な回答を得た。今後も引き続き生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選を行い教材を工夫しグループ学習なども取り入れて、歴史の多面性を感じさらに興味関心を持ってもらえるような授業に努めたい。
日本史A	人数が少ないこともあり、講義形式の授業はほとんどせず、絶えず生徒に問いかける形式を中心に進めてきた。また、グループ分けを行って共同で原史料の読解、発表を行う授業を数多くおこなった。授業の内容・進度・難易度などに対し、前期に引続き、概ね満足という結果であった。歴史そのものの魅力を伝えるだけでなく、思考・資料活用・表現法などを高めると同時に、理解が深まるように気を配ってきたい。
日本史B	授業の進度、難易度、深さなど多岐にわたって大多数の生徒から肯定的な回答を得ることができた。また、後期の授業ではグループ学習・探究学習などを取り入れ、それに対しても概ね満足している回答であった。受験に向けて授業進度の確保をしつつ、より生徒たちの興味関心や理解度が高まるように授業をつくってきたい。
地理A	前期に引き続き、授業の進度や難易度の面では概ね(7割以上)肯定的な評価であった。しかし、興味・関心を引き出す点で、まだまだ改善の余地がある。少人数での授業であるため、グループ学習・エキスパート学習をはじめ教材の工夫や学習法など、さらに工夫・改善していきたい。
地理B	前期に引き続き、授業の進度や難易度の面では概ね肯定的な評価であった。しかし、興味・関心を引き出す点で、まだまだ改善の余地があることを痛感する。授業内容についての理解がさらに深まるよう、今後もさらに生徒たちの知的好奇心に応える、よりレベルの高い授業づくりに努めていきたいと思う。
倫理	「精神」・「理性」等、哲学特有の抽象的な言葉が多いが、生徒は、授業を通して自分の生き方なり方を意識しながら学習に取り組んでいることが伺える。引き続き、学習に対する意欲関心が高まるような授業展開に努めたい。
数学Ⅱ	授業の集中心力、進度について肯定的な生徒は多いが、予習・復習への取り組みがあまりない生徒がまだ多く、難しいと感じている生徒がいることも事実である。再度、家庭学習の重要性を共有して、「予習・復習」と学習の継続を前提とした取り組みに努めたい。
数学B	授業の集中心力、進度について肯定的な生徒は多いが、予習・復習への取り組みがあまりない生徒がまだ多く、難しいと感じている生徒がいることも事実である。再度、家庭学習の重要性を共有して、「予習・復習」と学習の継続を前提とした取り組みに努めたい。
物理	大部分の生徒が集中して授業に取り組んでいる。難しいと感じる生徒も多いが、考えさせる授業を進めていくことで生徒の思考力を高め、「難しいが面白い」と感じられるような授業にしていきたい。
化学基礎	おおむね良好な評価であった。苦手意識を持つ生徒が一定数あるようなので、より丁寧な説明を心がけ、興味・関心を高める授業を目指したい。グループ学習や演習などを適切に取り入れて生徒の思考を深めるような工夫をしていきたい。
化学	理系科目としての高度な内容に移り、学問の難しさを楽しさを同時に感じながら日々の授業を大切にしている様子が見える。今後も理科に関する興味関心を高めるような授業展開を研究し、実践していきたい。特別にグループ学習の時間を設けることは多くないが、実験や観察を通してお互いに刺激しあう関係を作っていくようにしたい。
生物	多くの生徒が、授業に集中して取り組み、難易度が高い内容についても理解を進めていることがわかる。体系的な知識を構築するために、紙ベースだけでなく、実験で教科書の内容を補足・復習する等、より授業を工夫していきたい。
実践生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、(あまり行っていない)現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
地学基礎	進度、難易度とも多くの生徒が肯定的に回答している。今後もグループ学習や探究活動を進度に合わせて実施し、生徒の理解が進むようにしたい。また、地学は自然災害や防災など生活に直結した科目であるので、身近な話題も取り入れながら興味を高めしていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	ペア・グループ活動を頻繁に導入しており、活動を肯定的に捉えている割合も高く、教科に対する関心も高くなっている。予習・復習に取り組んでいる生徒も多い。4技能を統合的に伸ばしていく活動を取り入れて、英語力の伸長を図りたい。
英語表現Ⅱ	ペア・グループ活動を肯定的に捉えていて、授業に対する関心度も高くなっており、生徒は概ね授業内容に満足していることが見て取れる。コミュニケーション英語Ⅱと同様、予習・復習に取り組んでいる生徒も多く、英語力を伸ばそうという積極的な姿勢が見られる。4技能を統合的に伸ばしていく活動を取り入れて、活発な授業展開を目指したい。
保健体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなってきている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲、技能は向上しているようである。3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。

# 令和元年度 第3学年 後期授業アンケート結果 分析表

現代文B	授業の難度、進度は概ね生徒の実態に合っているようだ。全体的に学習に意欲的に向かっているが、復習が十分でない生徒もあるので、復習を促す働きかけをしていきたい。
古典B	授業の難度は上がっているが、よく努力している。今後も、基本事項の確認を繰り返し行いながら、それらを用いることで「自分で読める」喜びを感じさせ、さらに深い理解につなげていきたい。
世界史B	多くの生徒が意欲的に取り組み興味関心を高めており、授業の難易度・わかりやすさについても肯定的な回答が多く、概ね良好な回答を得た。進度については授業内容とのバランスを考え改善の余地がある。進度を維持しつつも、内容精選や教材を工夫し、歴史の多面性を感じ、さらに興味関心が深まる授業に努めたい。
日本史B	毎年のお話であるが、授業進度の確保に苦労している。にもかかわらず速度と難易度について概ね肯定的な回答が多いのは、現状で一定の妥当性を有しているからと考える。とはいえ、大きくバランスを失せず、さらなるスピードを求めているのは最優先課題と認識している。それが担保された限りにおいて、深く思考する歴史学習を進めていくために、授業時間の中での創意工夫をしていきたい。
地理B	生徒の学習意欲が高く、関心を持って授業に取り組んでいる。概ね肯定的な回答が多かったが、今後はさらに学問として取り組めるような話題を提供していきたい。また、地誌的な考察方法においても、主体的な学習による理解が進むよう工夫したい。
政治・経済	模擬国連を取り入れたアクティブラーニングの授業や、難民問題や国際貿易などの国内外の時事問題にリンクした授業を展開したため、生徒は授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度もちょうど良いと回答している。引き続き、知識の定着にとどまらず、既知知識を使って課題解決において協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦労している生徒には、予習と復習の習慣が不足していると思われるので、再度指導することで、授業の理解を高めさせたい。
発展数学 ⅠAⅡBα (文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦労している生徒には、予習と復習の習慣が不足していると思われるので、再度指導することで、授業の理解を高めさせたい。
発展数学 ⅠAⅡBβ (文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。しかし理解度が低い傾向にあるため、意欲的に取り組んでも内容の理解に苦労したり、予習と復習の習慣が不足したりしていると思われるので、再度指導することで、授業の理解を高めさせたい。
発展数学 ⅠAⅡBⅢ (理系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦労している生徒には、予習と復習の習慣が不足していると思われるので、再度指導することで、授業の理解を高めさせたい。
物理	前期と比して数ポイントではあるが肯定的評価へシフトしている。生徒の学習がより自立したものにへと変容した結果ではないだろうか。特に、前期では授業を単に「聞く」だけに終わっていたものが、後期では授業で扱う種々の問題の条件を「読み」、適切な法則を「考え」て運用するという姿勢が多くの生徒に身につけてきたものと考えられる。
化学	例年教科書を終えるのが11月下旬になってしまうので、進度を早めて実践演習に少しでも早く入れるように努めた。それによる弊害は特に感じられず、生徒も理解して授業に取り組んでいるようだ。前期と比べて評価が大きく変わることはなく、現状の授業の取り組みをより効果的・効率的なものにブラッシュアップさせていきたい。
実践 化学基礎	実践問題を取り入れた復習が中心の学習であるが、学習内容の理解が深まるにつれて化学への興味関心が向上する傾向がみられた。文系の生徒には特に基本的な考え方をしっかり身に付けさせるとともに、共同的な活動も取り入れ、学習への意欲を高めるような取り組みとするように心掛けたい。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
実践 生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、(あまり行っていない)現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
実践 地学基礎	ほとんどの生徒が集中して取り組んでいると回答している。今後も基本的な事項から発展的な内容まで網羅しながら、様々な題材により視野を広げ思考を深めるような展開を心掛けたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	授業に対して肯定的な意見が多く、積極的に学習に取り組んでいる姿勢が数字から見て取れる。ペア活動、グループ活動での言語活動にも積極的に参加し、生徒一人一人の英語に対する意欲関心も高い。
英語表現Ⅱ	積極的に授業に参加している様子が見える。ペア活動、グループ活動に対しても肯定的な意見が多く、積極的に表現活動に取り組んでいる。4技能を統合的に伸ばしていく活動を検討し、更なる英語力伸長を図りたい。
保健体育	後期で男女共修選択制授業を実施した。これまでの取り組みを基本に、リーダーが中心としたメンバーとの協力の中で、活発な生徒主体の取り組みができてきた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。
保健体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなってきている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲、技能は向上しているようである。3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。